

1. 教育計画

公衆衛生看護学

分野	統合分野 公衆衛生看護学	科目名	公衆衛生看護技術論
単位・時間	1 単位・30 時間	対象学年	3 年生
方法	講義、演習	時期	後期
講師名 (担当授業時間数)	専任教員 斎藤 恵子 (20 時間)		
講師の実務経験	看護師として他病院に 1 年、保健師として自治体に 36 年		
学習目標	1. 看護が提供される場の特性と支援技術の特徴を理解する。 2. 家庭訪問、健康相談等の事業を通して具体的支援の内容と方法を理解する。		
成績評価方法	筆記試験 90 点 レポート 10 点 (出席状況・演習への取り組み方も加味し上記得点より変動します。)		
使用テキスト	メヂカルフレンド社：保健学講座2 公衆衛生看護支援技術		
参考文献	保健師業務要覧（日本看護協会）、その他資料を随時配布する		
履修上の留意	実習で行う技術のため積極的に獲得できるようにする		
講師からの メッセージ	看護職、地域住民、双方の立場で考えられるように、それぞれの技術の重要性を考えてください。		

2. 授業計画

回	時間	主題	授業内容	形態	備考
1	2	公衆衛生看護活動の基本	公衆衛生看護の考え方 対人支援の目的	講義	
2	2	保健行動の理解	健康行動論・モデル 保健指導における援助者の役割	講義	
3	2	健康相談の方法と実際	対象者の援助ニーズの把握方法と内容 健康相談の対象	講義	
4	2	健康相談の方法と実際	健康相談の事例展開	演習	
5	2	健康相談の方法と実際	ロールプレイ	演習	
6	2	家庭訪問の方法と実際	家庭訪問の目的と対象 家庭訪問のプロセス	講義	
7	2	家庭訪問の方法と実際	家庭訪問の実際 (DVD) EPDS とは	講義	
8	2	家庭訪問の方法と実際	家庭訪問の事例展開	演習	
9	2	家庭訪問の方法と実際	ロールプレイ	演習	
10	2	健診の方法と実際	サイクル別の健診	講義	

回	時間	主題	授業内容	形態	備考
			乳幼児健康診査の目的と対象		
11	2	健診の方法と実際	健診のプロセス 健診の実際（DVD）	講義	
12	2	健診の方法と実際	問診、個別指導の留意点 健診結果と事後教室の流れ	講義 演習	
13	2	健診の方法と実際	ロールプレイ	演習	
14	2	健診の方法と実際	ロールプレイ、カンファレンスの実際	演習	
15	2	評価	筆記試験		